

丹篠監公表第 1 号  
令和 6 年 1 月 22 日

丹波篠山市監査委員 酒 井 加 世 子

丹波篠山市監査委員 隅 田 雅 春

令和 5 年度 定期監査の結果について

地方自治法第 199 条第 4 項及び丹波篠山市監査基準第 4 条第 2 項の規定により、定期監査を実施したので結果を公表する。

記

〔監査対象〕	企画総務部
	行政経営部
	議会事務局
	会計課
	監査公平選管固定審事務局

令和5年度

定期監査報告書

令和6年1月

丹波篠山市監査委員

## 1. 監査の種別

定期監査（地方自治法第199条第4項による監査）

- ・財務監査及び行政監査（地方自治法第199条第1項及び第2項）

丹波篠山市監査基準第4条第2項の規定に基づく監査

## 2. 監査の対象及び範囲

	部	課	期間
前期	行政経営部	財政課、管財契約課、課税課、収税課	令和5年4月1日～ 8月31日までの執行 事務
	会計課	—	
後期	議会事務局	—	令和5年4月1日～ 9月30日までの執行 事務
	企画総務部	創造都市課、ブランド戦略課、総務課、 秘書広報課	
	監査公平選管固定審事務局	—	

※対象期間について、必要に応じて過年度に遡ることもある

## 3. 監査の期間

令和5年9月1日から令和6年1月22日

### ■前期調査(令和5年9月～10月)

行政経営部 会計課	・所管事項総括説明（令和5年10月10日） ・予備審査（令和5年10月16日）
--------------	--

### ■後期調査(令和5年10月～11月)

議会事務局 企画総務部 監査公平選管固定審事務局	・所管事項総括説明（令和5年10月30日） ・予備審査（令和5年11月13日）
--------------------------------	--

### ■現地調査（令和5年11月21日）

創造都市課所管： 丹波篠山フィールドステーション、味間お試し住宅

管財契約課所管： 旧兵庫県篠山庁舎

## 4. 監査の方法

監査の実施にあたっては、財務に関する事務の執行及び経営に関する事業の管理が適正かつ効率的に執行されているかを主眼に、歳入歳出予算の執行状況、組織及び業務内容、契約事務等について、関係資料及び書類等の提出を求め、関係職員より説明を聴取し又、必要に応じ現地調査も行い、監査を実施した。

また、各課において認識しているリスク等については、その管理体制等について注意を払い監査を実施した。

## 5. 監査の結果及び意見等

監査の結果、予算執行及び事務事業はおおむね適正に処理されているものと認められたが、一部の事務については、改善を要するものが見受けられることから、次のとおり意見を付する。

また、軽易な事項については、口頭で改善を求めた。

なお、監査の結果及び意見等に基づき措置を講じられたときは、地方自治法第 199 条第 14 項の規定に基づき、その旨を監査委員に通知されたい。

## 行政経営部

### (1) 財政課

#### 【意見】

#### ①基金の整理（統廃合）について

基金については、令和元年度の定期監査において廃止や統合等の整理を図られたい旨を意見したところであるが、令和 5 年度においては令和元年度より 1 種類増えて計 29 種類の基金が設置されている。しかし令和元年度以降も、活用されていない基金や残高が少額の基金が見られることから、基金の設置目的や今後の計画などを再度点検したうえで、廃止や統合等の整理を図られたい。

#### ②長期財政計画の早期策定について

篠山再生計画が平成 20 年度に策定され、厳しい財政状況の中でまちづくりに取り組んだ結果が今の丹波篠山市に繋がっていることは評価に値する。しかし、篠山再生計画での収支見通しは平成 32 年度（令和 2 年度）までで、以後の財政収支見通しについては策定されず今日を迎えていることから、早期に今後の指針となる長期財政計画を示されたい。

### (2) 管財契約課

#### 【意見】

#### ①公共施設等総合管理計画の見直しについて

公共施設等総合管理計画が平成 28 年度に策定されて以降、新型コロナの流行により施設の利用や機能に対するニーズがコロナ以前と様変わりしている。また近年では、物価の高騰や人件費の上昇により費用負担が増加している。この計画が策定されてから 7 年が経過しようとする現在にあって、社会情勢が大きく変化していることから、より現状に即した内容となるよう計画の見直しに早急に取り組まされたい。

#### ②市への寄附の基準策定について

現在市では、個人などから土地・建物などの寄附について特段の決まった基準などの定めが無く、寄附の申し出があった時に個々の案件により受け入れを判断している状況にある。

今後空き家や不在地主が増え相続人となった方からの寄附申し出が増えることを想定したとき、寄附採納の事務を速やかに行うための要綱や規則などの基準を策定されたい。

### (3) 課税課・収税課

#### 【意見】

#### 徴収体制の確立・徴収率の向上について

市税徴収担当職員の人数は令和元年度の定期監査実施時の 10 人から令和 5 年度は 7 人へ 3 人減少しており、それに呼応するように未収税額の減少が令和元年度以降鈍化している。この間、新型コロナにより徴収活動に制限を受けるなど社会情勢に変化は見られるが、職員数の減少とともに徴収体制が弱体化し、徴収率は県平均を年々下回る結果となっている。職員の増員が見込めないなかにあつて、今年度から新しく取り組みを始めた丹波市との併任徴収

を契機に、これまでの前例にとらわれることなく他団体の取り組みを参考にして、職員の知識の習得と経験を積むことで組織力の強化を図り、危機感を持って未収金の解消と徴収率の向上に努められたい。

## 会計課

### 【意見】

資金運用に向けた取り組みについて

長引く超低金利政策により預金利息の収益が望めない状況にあつて、本市の基金などの利息収入は僅かな額となっている。過去には債券による基金の運用をしていた時期もあったが、超低金利の状況下で比較的利回りの良い超長期（20年以上）の債券を保有できるだけ財政的な余裕が今の本市には無く、定期預金による資金管理に留まっている。このため、少しでも利息収入を得られるように他の自治体の取り組みを参考にするなど検討を重ねて、新たな資金運用に取り組まれたい。

## 議会事務局

### 【意見】

オンライン会議の通信環境整備について

コロナ禍以降、感染症にかかった場合でも市議会の委員会などにオンラインにより出席できる環境が整えられている。しかし、回線などの通信設備の機能が不十分であるため通話が途切れるなど不安定な状況にあることから、これらの不具合を解消し多様な形で委員会へ出席できるよう早期に通信環境の改善をされたい。

## 企画総務部

### (1) 創造都市課

#### 【意見】

組織体制の見直しについて

創造都市課にあつては本市の最優先的な課題解決のため日夜取り組まれているところであるが、一つの課で担う業務の量が多く、また内容も複雑多岐にわたるため職員ひとり一人の負担がかなり大きくなっている。今後の市の方向性を左右する重要な政策を担う部署であるためやむを得ない面もあるが、丹波篠山市の将来を決定するためには、余裕を持って熟考し的確な判断が求められることから、今の業務を分担した組織体制に再編されたい。

### (2) ブランド戦略課

#### 【意見】

丹波篠山市DX推進計画について

本年度7月に策定された本計画については、国の計画期間にあわせて令和7年度末までの期間において、基本方針に謳われている市民サービス・地域社会・行政事務のDXに取り組むこととなっている。しかし、期間までの残り僅かな中で本計画を推進するためには住民への周知と理解、とりわけ市職員の意識改革などが重要であることから、少しでも早く本計画

が実現できるよう推進に取り組まれない。

### (3) 総務課

#### 【意見】

##### ①職員が元気に働ける組織の体制づくりについて

今年度の定期異動では4月以降に適応障害などで体調を崩して休暇を取得する職員が例年以上に多く、未だ症状が改善せず現在もお長期に休んでいる職員が複数名いる状況である。市民に対する健全な市政の執行には、職員が健康に働くことが必要不可欠であるため、病気の予防をはじめ、早期発見から早期の職場復帰に向けたフォローなど、職員が元気に働くことができる体制づくりに取り組まれない。

##### ②職員の確保について

社会経験を積んだ有能で多様な人材を確保するため、また、現在本市の会計年度任用職員として働く職員が正規職員へ登用できる機会を拡大するために、現在の職員採用の年齢制限を引き上げることに取り組まれない。

### (4) 秘書広報課

#### 【意見】

##### 河合雅雄先生の名を冠した賞の創設について

丹波篠山市の名誉市民であり世界的な権威である故河合雅雄先生の栄誉を称え、また、先生の意志を継いだ著しい功績を残された個人や団体に対して顕彰するため、新たな賞の創設について検討を進められたい。

### 監査公平選管固定審事務局

#### 【意見】

##### (選挙管理委員会) 選挙事務の適正執行について

令和元年度の定期監査において投票事務の適正執行について意見したところであるが、残念ながら令和3年度の衆議院議員総選挙において投票用紙の交付誤りが1件発生している。前回の意見を踏まえて投開票事務の適正執行に取り組まれているが、今後も担当職員が研鑽を積むとともに選挙事務に従事する職員一人ひとりが自覚と責任を持って選挙事務に取り組み、適正に執行できるよう努められたい。

## <参考資料>

### 行政経営部

#### 【組織・職員の状況（令和5年8月31日現在）】

行政経営部は、財政課、管財契約課、課税課、収税課の4課からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
31 (2)	0	1	1	4	37 (2)

( ) は療養休暇

また、行政経営部各課における事務事業の概要は次のとおりである。

### 財政課

#### 【組織・職員の状況】

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
6	0	0	0	0	6

#### 【予算の執行状況】

【歳入】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	地方譲与税	272,391,000	69,172,000	69,172,000	100.0
	利子割交付金	2,627,000	1,017,000	1,017,000	100.0
	配当割交付金	68,198,000	11,983,000	11,983,000	100.0
	株式等譲渡所得割交付金	42,222,000	0	0	-
	法人事業税交付金	68,858,000	42,532,000	42,532,000	100.0
	地方消費税交付金	966,220,000	520,459,000	245,950,000	47.3
	ゴルフ場利用税交付金	87,613,000	30,104,495	30,104,495	100.0
	環境性能割交付金	37,214,000	13,793,000	13,793,000	100.0
	地方特例交付金	29,181,000	14,355,000	14,355,000	100.0
	地方交付税	8,160,000,000	3,546,852,000	3,546,852,000	100.0
	国庫支出金	306,909,000	0	0	-
	県支出金	13,070,000	8,100,000	0	0.0
	財産収入	121,000	205,724	205,724	100.0
	繰入金	1,758,275,000	0	0	-
	繰越金	50,000,000	157,144,143	157,144,143	100.0
	繰越金（繰越明許）	124,397,000	124,397,000	124,397,000	100.0
	繰越金（事故繰越）	7,753,000	7,753,000	7,753,000	100.0
	諸収入	5,000	7,126	7,126	100.0
	市債	105,600,000	0	0	-
	計	12,100,654,000	4,547,874,488	4,265,265,488	93.8

## 【歳出】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総務費	1,143,000	207,451	207,451	18.2
	公債費	2,062,150,000	398,049,172	398,049,172	19.3
	諸支出金	370,171,000	0	0	0.0
	予備費	66,869,000	0	0	0.0
	計	2,500,333,000	398,256,623	398,256,623	15.9

## 【分掌事務】

予算編成、決算の調整、予算の執行管理、財務会計システム、地方交付税、各種交付金等一般財源の算定、地方債・公債費の管理、財政収支見通しの作成、財政健全化法、地方公会計制度、債権管理、行政改革の推進、公民連携・市出資法人（第3セクター）、構造改革特区、地域再生計画、私人への収納事務委託、インボイス制度に関することなど

## 【主要事業】

予算編成、決算の調整、篠山再生計画事業など

## 【懸案事項】

財政健全化、篠山再生計画の次期計画策定など

## 管財契約課

## 【組織・職員の状況】

管財契約課は管財係、契約係、営繕係の3係からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
9	0	1	0	2	12

## 【予算の執行状況】

## 【歳入】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	使用料及び手数料	3,910,000	1,908,528	1,145,328	60.0
	財産収入	7,048,000	53,733,277	51,329,952	95.5
	諸収入	582,000	396,014	436,494	110.2
	市債	45,800,000	0	0	-
	市債（繰越）	31,300,000	0	0	-
	計	88,640,000	56,037,819	52,911,774	94.4

## 【歳出】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総務費	168,513,000	78,793,230	78,793,230	46.8
	総務費（繰越）	34,791,000	19,611,400	19,611,400	56.4
	計	203,304,000	98,404,630	98,404,630	48.4

## 【分掌事務】

工事等の入札・契約、随意契約の協議、中間・完成検査、業者指名、入札制度検討委員会、競争入札参加資格審査（指名願い）、入札参加者審査会・契約審査会、業者格付け、入札監視委



員会、公契約審議会、電子入札システム、業者指名登録、情報公開、市有財産の取得・処分・維持管理、固定資産台帳・財産に関する調書の管理、公共施設のオンライン予約・総合調整、宿日直業務・電話交換業務、市バス・公用車の維持運行管理、指定管理総括、畑財産区、公共施設営繕工事の工事監理・指導、公共施設等総合管理計画、公共施設の新築・増改築・大規模修繕工事等の指導など

**【主要事業】**

入札審査会等の開催、入札・契約業務の執行、工事等の中間・完成検査の実施、建築工事等の設計・監理業務、本庁舎昇降機改修工事、第2庁舎空調設備改修工事、施設の長寿命化など

**【懸案事項】**

入札制度の検証、契約システムの構築、公有財産等維持管理及び有効活用など

また、旧兵庫県篠山庁舎について、現地に赴き現状確認のほか施設の概要及び管理状況等について調査を行った。

**課税課・収税課**

**【組織・職員の状況】**

(1) 課税課は市民税係、固定資産税係の2係からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
10 (1)	0	0	1	0	11 (1)

(1) は療養休暇

(2) 収税課は納税係の1係からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
5 (1)	0	0	0	2	7 (1)

(1) は療養休暇

**【予算の執行状況】**

**【歳入】**

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	市 税	5,477,764,000	5,556,856,332	3,229,925,997	58.1
	使用料及び手数料	3,816,000	1,785,180	2,082,480	116.7
	県 支 出 金	60,804,000	32,556,051	15,939,252	49.0
	諸 収 入	6,123,000	3,355,643	3,865,954	115.2
	計	5,548,507,000	5,594,553,206	3,251,813,683	58.1

**【歳出】**

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総 務 費	96,409,000	56,077,017	35,675,911	58.2
	計	96,409,000	56,077,017	35,675,911	58.2

**【分掌事務】**

(1) 課税課

個人市民税（給与特徴・年金特徴・普徴・確定申告・県民税など）、法人市民税、軽自動車

税、市たばこ税、入湯税、口座振替事務、租税教育、税務システムの運用管理、各種証明書、土地・家屋・償却資産の評価事務、土地・家屋・字限図等台帳の管理・整備、地番図閲覧、評価替え事務、家屋被害認定調査、税条例の改正

(2) 収税課

収納管理、還付・充当事務、県民税払込、督促手数料など税外収入の管理、口座振替の推進、督促状作成・発送、納税勧奨、収納消込、併任徴収、滞納者の実態・財産調査、分割納付の管理・履行推進、不納欠損処分及び執行停止、債権・不動産の調査・差押え（交付要求）・公売、納税義務の承継、連帯納税義務の告知替え、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の連携及び徴収、医療保険課との連携・調整（資格者証、夜間納税相談等）、在住外国人の徴収対策など

【主要事業】

課税課：令和6年度に向けた固定資産評価替え業務委託など

【懸案事項】

収税課：市税等未収金の徴収対策など

会計課

【組織・職員の状況（令和5年8月31日現在）】

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
3	0	0	0	1	4

【予算の執行状況】

【歳出】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総務費	1,518,000	672,825	672,825	44.3
	計	1,518,000	672,825	672,825	44.3

【分掌事務】

公金等管理、現金等出納保管事務、収納事務、支払事務、決算書調製、一時借入金、基金等資金管理・運用、歳入戻出・歳出戻入の処理、指定金融機関関係、各金融機関との調整など

【懸案事項】

公金収納事務の費用負担の見直し、窓口のキャッシュレス化、電子決済の導入など

議会事務局

【組織・職員の状況（令和5年9月30日現在）】

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
5	0	0	0	0	5

**【予算の執行状況】**

**【歳入】**

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	諸収入	80,000	123,600	123,600	100.0
	計	80,000	123,600	123,600	100.0

**【歳出】**

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	議会費	150,663,000	78,739,226	76,233,276	52.3
	計	150,663,000	78,739,226	76,233,276	52.3

**【分掌事務】**

本会議・議会運営委員会・全員協議会、常任委員会・特別委員会、議会基本条例に基づく会議、公聴会、請願・陳情、議会の情報化、会議録の編さん、各種調査・資料の収集、政務活動費に関する事務、議会の身分・表彰、議会共済・議員互助会・議員厚生会、議員の報酬等の支給、議長会・局長会、議会広報、正副議長の秘書・交際に関する事など

**【懸案事項】**

議場の改修（バリアフリー化）、議会図書室の設置など

**企画総務部**

**【組織・職員の状況（令和5年9月30日現在）】**

企画総務部は、創造都市課、ブランド戦略課、総務課、秘書広報課の4課からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
40 (7)	2	1	0	5	48 (7)

( ) は療養休暇、育児休業

また、企画総務部の事務事業の概要は次のとおりである。

**創造都市課**

**【組織・職員の状況】**

創造都市課は、ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう室、企画調整係、定住促進係、地元就職支援室の2室2係からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
10 (1)	0	0	0	0	10 (1)

( ) は育児休業

**【予算の執行状況】**

**【歳入】**

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	使用料及び手数料	1,860,000	1,187,250	887,650	74.8
	国庫支出金	1,017,000	4,280,000	0	0.0
	県支出金	15,750,000	15,750,000	0	0.0

一般会計	財産収入	1,080,000	1,080,000	540,000	50.0
	諸収入	3,060,000	835,000	835,000	100.0
	計	22,767,000	23,132,250	2,262,650	9.8

【歳出】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総務費	304,142,000	192,949,084	95,721,224	63.4
	商工費	34,408,000	18,094,166	6,517,166	52.6
	計	338,550,000	211,043,250	102,238,390	62.3

【分掌事務】

重要施策の企画・総合調整、国・県・他市町村との総合調整、広域行政（関西広域連合など）、総合計画・総合戦略、公共交通、地域振興施策（過疎地域持続的発展計画・辺地総合整備計画の策定など）、合併後の管理・調整、大学との地域連携、丹波篠山フィールドステーションの施設管理、丹波篠山キャピタル・丹波篠山市農村イノベーションラボの管理運営、篠山農村イノベーションズスクール、関係人口、定住促進施策、結婚相談室、空き家等の活用、ワクワク農村未来プラン、市内企業振興、企業誘致、地元就職促進に関することなど

【主要事業】

結婚相談室事業、公共交通対策事業、ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業、官学地域連携事業、地域おこし協力隊管理事業、丹波篠山市農村イノベーションラボ管理事業、空き家活用事業、ワクワク農村モデル事業、関係人口創出拡大事業、地元就職促進事業、企業振興・誘致促進事業など

【懸案事項】

結婚相談室会員数の維持・増加、公共交通サービスの維持・ドライバーの確保、出生数の減少、人口減少などの社会的な問題に対する県との連携・庁内一体の取り組み、官学連携拠点の丹波篠山フィールドステーションの老朽化に伴う今後のあり方、地域おこし協力隊の市の重要施策等に対する有効活用、丹波篠山市農村イノベーションラボの施設等活用の方向性の検討、空き家や寄付相談の増加に伴う対応、ワクワク農村未来プランの市内各自治体への周知とアフターフォロー、関係人口創出に係る組織体制、地元就職促進、企業振興・誘致促進など

また、丹波篠山フィールドステーション及び味間お試し住宅について、現地に赴き現状確認のほか施設の概要・管理状況等について調査を行った。

ブランド戦略課

【組織・職員の状況】

ブランド戦略課は、ブランド戦略係、ふるさと応援推進室、情報政策・自治体DX推進室の2室1係からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
6	1	1	0	1	9

**【予算の執行状況】**

**【歳入】**

**【単位：円、％】**

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	国庫支出金	6,812,000	1,441,000	0	0.0
	県支出金	4,737,000	3,262,000	3,262,000	100.0
	財産収入	10,000	0	0	0.0
	寄附金	315,901,000	65,271,880	74,137,880	113.6
	諸収入	1,552,000	495,360	339,360	68.5
	計	329,012,000	70,470,240	77,739,240	110.3

**【歳出】**

**【単位：円、％】**

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総務費	345,094,000	111,598,554	77,396,623	32.3
	計	345,094,000	111,598,554	77,396,623	32.3

**【分掌事務】**

ブランド戦略の推進、市公式ホームページ及びLINEの管理運営、シティプロモーション、丹波篠山フィルムコミッション、創造都市ネットワーク・日本遺産、丹波篠山ふるさと応援寄附金・企業版ふるさと納税、ふるさと応援団、国勢調査ほか他課の主管に属さない統計調査、地域情報化社会の推進、自治体DXの推進、電子計算機処理・データ保護管理の総括及び機器の管理・運用など

**【主要事業】**

ブランド戦略事業、丹波篠山ふるさと応援寄附金事業、市DXの推進、庁内システム機器等の管理・運用等の総括など

**【懸案事項】**

ユネスコ創造都市ネットワークのモニタリングレポート及び日本遺産（デカンショ）継続審査書類の提出、ふるさと納税のルール変更への対応、システム標準化に向けた対応など

**総務課**

**【組織・職員の状況】**

総務課は、行政係、人材育成係、給与係、映像制作係の4係のほか、法務専門員1名からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
16 (5)	1	0	0	1	18 (5)

( ) は療養休暇

**【予算の執行状況】**

**【歳入】**

**【単位：円、％】**

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	県支出金	2,111,000	2,111,710	2,111,710	100.0
	諸収入(総務費雑入)	24,953,000	121,072	131,072	108.3
	諸収入(教育費雑入)	1,000	890	890	100.0
	計	27,065,000	2,233,672	2,243,672	100.4

## 【歳出】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総務費	24,775,000	8,475,351	7,381,513	34.2
	教育費	2,853,000	1,195,893	1,062,482	41.9
	計	27,628,000	9,671,244	8,443,995	35.0

## 【分掌事務】

議会・議案に関すること、法制事務、公印の管理、市界・字界の設定及び変更、情報公開及び個人情報保護制度、行政不服審査会、文書管理、職員の給与・人事労務関係、職員厚生、職員研修、視聴覚ライブラリーの運営など

## 【主要事業】

市内高等学校の活性化（市内高等学校在り方検討会）、明るくあいさつの推進、公正な職務の執行、職員の人材育成、内部統制の導入検討など

## 【懸案事項】

メンタルヘルス不調の予防と対応など

## 秘書広報課

## 【組織・職員の状況】

秘書広報課は、秘書係、広報広聴係の2係からなる。

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
7 (1)	0	0	0	3	10 (1)

( ) は育児休業

## 【予算の執行状況】

## 【歳入】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	国庫支出金	226,000	226,000	226,000	100.0
	諸収入	1,045,000	1,183,350	986,550	83.4
	計	1,271,000	1,409,350	1,212,550	86.0

## 【歳出】

【単位：円、％】

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総務費	27,821,000	7,998,023	7,998,023	28.7
	計	27,821,000	7,998,023	7,998,023	28.7

## 【分掌事務】

秘書に関すること、儀式及び表彰、市長会・副市長会、市民公聴、渉外業務、市広報、ふるさと一番会議、報道関係、パブリックコメントなど

## 【主要事業】

名誉市民河合雅雄氏顕彰の場の設置、功労者表彰事業、広報紙発行など  
交響ホール・さぎそうホール管理事業、交響ホール市主催事業など

## 【懸案事項】

こんにちは市長室・おでかけ市長室の広報など

**監査委員・公平委員会・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会事務局**

**【組織・職員の状況（令和5年9月30日現在）】**

正規職員	(特定)任期付職員	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	計
4 (1)	0	0	0	1	5 (1)

(1) は出産・育児休業

**【予算の執行状況】**

**【歳入】**

**【単位：円、％】**

会計	款	予算現額	調定累計額	収入済額	収納率
一般会計	分担金及び負担金	2,743,000	0	0	-
	県支出金	17,312,000	0	0	-
	諸収入	80,000	0	0	-
	計	20,135,000	0	0	-

**【歳出】**

**【単位：円、％】**

会計	款	予算現額	負担行為累計額	支出済額	執行率
一般会計	総務費	26,956,000	15,805,600	15,805,600	58.6
	計	26,956,000	15,805,600	15,805,600	58.6

**【分掌事務】**

決算審査、定期監査、例月出納検査、住民監査請求、勤務条件の措置請求・不利益処分審査、職員団体登録、各種選挙の管理執行、選挙人名簿調製、明推協活動、固定資産の価格に関する不服に対する審査・決定など

**【主要事業】**

県議会議員選挙・畑財産区議会議員の適正な執行、市議会議員選挙に向けた準備、適正な監査の実施など

**【懸案事項】**

急な選挙時における事務局体制・施設等の確保等調整と監査など他の委員会事務への影響、選挙執行における職員体制の構築、職場環境や時代の変化による公平審査の対応など

**リスクの識別**

監査を効果的かつ効率的に実施するため、各担当課でリスクを抽出・ヒアリング等を行い、部署ごとに以下のリスクに注目して監査を行った。

	所属	想定されるリスク	リスク回避の手段、対応
行政 経営部	財政課	1 借入時の市債償還表の入力誤りや計算誤りによる予算計上誤り	1 複数の担当者で確認を徹底
		2 交付税の算定誤りによる返還金の発生	2 (1) 毎年同じ調査内容のものは次年度へ確実に引き継ぐようにコメントを残す (2) 複数の担当者で確認を徹底

行政 経営部	管財契約課	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 施設の老朽化等による機器不具合からのサービス低下、利用者の安全の確保が担保できない</li> <li>2 設計書の提示誤りによる入札のとりやめ</li> <li>3 図面作成ミス・設計積算の計算誤り</li> <li>4 公用車の車検切れの運行・無保険での事故</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 日常的な点検と更新等計画を立てることによる適切な管理の実施</li> <li>2 入札実施前に複数の担当者で確認を徹底</li> <li>3 担当者以外の職員 2 名による検認の実施</li> <li>4 車検期限前に担当課長等へ連絡を入れる。新規購入車両の情報を課内で共有</li> </ul>
	課税課 収税課	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 誤った税額等の通知</li> <li>2 個人情報の流出</li> <li>3 現金取り扱いの誤り</li> <li>4 口座振替データの登録誤り</li> <li>5 滞納処分等の手続き誤り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 突合確認の徹底・処理方法の導入</li> <li>2 各研修への参加・他市町との情報交換による税法に対する運用の適正化</li> <li>3 キャッシュレス化による多様な納付方法の導入により現金取り扱いの機会を減らす</li> <li>4 慎重かつ正確な事務処理と複数職員による確認の実施</li> <li>5 チェックシートを作成し正確な事務処理を実施</li> </ul>

会計課	想定されるリスク	リスク回避の手段、対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 振込先誤り、債権者誤り、金額誤り、2 重払い、支払い漏れなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 支払伝票の審査確認、複数で確認の職員配置、チェック体制の確保、事務進捗状況の確認の徹底</li> </ul>

議会事務局	想定されるリスク	リスク回避の手段、対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 政務活動費の基準に基づかない使用、領収書等根拠書類の改ざん</li> <li>2 委員会のオンライン開催におけるインターネット環境の障害による通信不可、通信状態の不安定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 手引き作成による注意喚起、政務活動費使用の前に政務活動費使用届の提出・年度末に収支報告書等の提出により議長や事務局による内容確認の徹底</li> <li>2 通信端末を限定し負荷の軽減を図る、通信状態が不安定などの場合に備えた要綱・規約の策定及び大容量の通信環境を整える</li> </ul>

企画 総務部	所属	想定されるリスク	リスク回避の手段、対応
	創造都市課	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 コミュニティバスの車両不具合による運休</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 借上げ車両の確保と新たな運行形態に合った適切な車両の確保</li> </ul>



企画 総務部	創造都市課	2 補助金交付決定通知送付時などに封入誤りによる誤送、数式誤りによる金額誤り	2 封筒を窓あきへ変更、複数職員による確認の徹底
	ブランド戦略課	1 落雷・停電によるネットワーク障害、担当外職員の誤操作によるネットワーク障害、コンピューターウイルス感染及び感染に伴う個人情報の大量漏えい、メール送信誤りによる個人情報漏えい、外部攻撃によるサーバ停止、誤った取扱いによる電子機器の破損	1 兵庫県情報セキュリティクラウドへの参加によるコンピューターウイルス・不正通信監視対策、各端末へのウイルス対策ソフトの導入、研修などを通じた職員のセキュリティ意識の向上、資産管理ソフトによる端末使用状況の監視・遠隔操作による初期対応の環境構築
	総務課	1 職員の不祥事	1 綱紀粛正と服務規律の保持の徹底を図るとともに、職員一人一人が不祥事を他人ごととせず、公務員倫理の重要性を深く認識させるため、若手職員、監督職、管理職等の各階層別の全てにおいて公務員倫理研修を実施し、コンプライアンス意識の向上を図る 2 人事担当の管理職員は、リスクマネジメント研修を受講する等により、不祥事が発生した際のメディア対応等危機管理広報に必要な基本的スキルを習得
	秘書広報課	1 市表彰条例に基づき表彰すべき候補者の推薦漏れ	1 部長会・庁内グループウェアでの周知、表彰審議会での確認、推薦依頼時に過去の受賞者を示して漏れがないか確認

	想定されるリスク	リスク回避の手段、対応
監査・公平・選管 ・固定審事務局	1 投票用紙の二重交付、誤交付、開票時の計数誤り 2 経験不足・習熟不足による対応・回答誤り 3 各委員会の情報漏えい	1 事前説明による注意喚起、機器の配備及び管理の徹底と二重チェックによる防止策を講じる 2 前任者からの引き継ぎによる業務確認・把握、研修等を通じた知識習得・スキルアップ 3 施錠できるロッカーでの保管、保管期限を迎えた情報の適切な処分

※リスクとは、事業の目標達成を阻害する要因となるもの